令和６年度第九次総合計画策定に係る意見交換会

―意見概要―

高　山　市

目次

〇意見交換会の概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
〇意見概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2

○意見交換会の概要

１　目的

各地域や各団体との意見交換会や市民アンケートでの意見のほか、統計データや社会全体の動向などを踏まえて策定した第九次総合計画案の概要を説明し、市のまちづくりの方向性について市民の意見を聴取するため

２　実施方法

①対面による意見交換会の開催

・市役所での開催

・個別での開催を希望するまちづくり協議会単位の地域

②オンラインでの実施

・市公式 YouTube チャンネルで説明動画を配信し、オンラインにより意見を提出

３　開催期間・参加者等

①については、令和６年９月２７日～１０月４日　５回・５３名

・9/27(金)　　市役所開催

・9/29(日)　　市役所開催

・9/30(月)　　荘川町まちづくり協議会

・10/3(木)　　たからまちづくり協議会（上宝地域）

・10/4(金)　　たからまちづくり協議会（奥飛騨温泉郷地域）

②については、令和６年９月２０日～１０月１５日

期間中動画視聴回数　８００回数・意見提出者数　１９名

４　意見交換会の内容

・ 第九次総合計画の考え方、まちづくりの方向性など

○意見概要（オンライン配信含む）

［凡例　○：計画に反映されているもの、－：個別計画や取り組みで検討するもの］

No.	意見	対応	計画への反映
1	重点計画で「人」を限りある財産とし、柔軟なポジションで効率的に活用することが重要である。縦割りを廃し、社会的立場にとらわれず複数の役割を担わせ、各分野を統合的に進めることで人口減少に対応できる。 柔軟な人材運用には財源の柔軟性も必要である。	「人」に関しては「重点戦略」に位置づけ、分野横断的かつ重点的に取り組むこととしている。	○
2	重要な視点が、「人」になって取り組むのは良い。現実感より理想感が強い。 人口減少は国でも成果が出てない。周辺地域は過疎化は止められない。対策は見当たらない、見捨てられていると感じざるを得ない。	地域の活性化については引き続き、検討して取り組んでいく。	○
3	「人」を重視する考えは賛同する。	参考意見として承る。	－
4	「人」に焦点を当てたことは納得である。	参考意見として承る。	－
5	「人」が穏やかに助け合って暮らせる「心豊かな街」になって欲しいと思う。 市が一生懸命取り組んで、方向性を示してもらえたら、一市民として、小さな力でも、出来る事はしていきたいと思う。	参考意見として承る。	－
6	「人」を大切にしようとするテーマは賛成である。 人口減少の進行により、働き手や地域の担い手を確保するため、他地域若しくは海外から呼び込む必要がある。	働き手や担い手などの人に関しては「重点戦略」に位置づけ、分野横断的かつ重点的に取り組むこととしている。	○
7	人づくりをテーマにしていることは大変評価はできるが、人をどう確保していくかが重要な課題と考える。	働き手や担い手などの人に関しては「重点戦略」に位置づけ、分野横断的かつ重点的に取り組むこととしている。	○
8	基本計画の考え方については納得した。 市民と夢や思いを共有する計画を実行するために、具体的に何をするかが重要と考える。市と市民、それぞれができることを取り組んでいくことが必要である。	市民と共有できるよう分かりやすい計画書の作成をすすめている。 今後のまちづくりの方向性を市民と共有しながら各施策に取り組んでいきたい。	○
9	荘川さくら学園の児童・生徒と地域の高齢者が交流して教育につながるような取り組みを考えている。 次期計画においては、縦割りではなく、様々な分野が手を取り合って連携してすすむような取組みに期待する。	横断的に取り組む必要があるものについては関係部署同士が連携しながら取り組んでいく。	○
10	重点事業で人づくりに取り組むことは理解したが、婚活（結婚支援）は含まれているか。	重点戦略に含まれており、取り組むこととしている。	○
11	分野別計画で５つの分野ですすめることは理解したが、分野横断的な施策を計画に位置付けて欲しい。 農業の振興は単に農業分野だけでなく、地域の衰退の歯止めとなる。零細農家を支援しないと、地域コミュニティが維持できない。そういう視点を入れて欲しい。	働き手を含め人に関することは、分野横断的かつ重点的に取り組むように「重点戦略」に位置付けている。	○

No.	意見	対応	計画への反映
12	重点戦略に夢や希望が持てる環境づくりとあるが、市民の夢や希望についてはどのような考えのもと、重点戦略に設定したのか。 地域に住む人に対する将来の活躍に向けてチャンスを与えていくものと考える。	将来を担う市民が、生き生きと活躍したり、生きがいを持って働くなど、充実した暮らしを過ごすことで、この地域に住むことを「しあわせ」と感じてもらいたい、という考えのもと重点戦略に設定している。	○
13	毎月の安否確認が行われていない現状に対し、町内会の役員だけでは不足していると感じる。 福祉課以外の職員も全地域に割り振り、積極的に確認を行うべきである。	具体的な取り組みへの提案であるため、今後の取り組みにおいて検討する。	－
14	高齢者や低所得者の方に金銭的な支援を望む。	今後の取り組みの中で検討していく。	－
15	市役所の開庁時間（８時～１７時）以外でも市民の困りごとを聞く姿勢が必要である。	具体的な取り組みへの提案であるため、今後の取り組みにおいて検討する。	－
16	自助、共助、公助は重要な考えであるため、計画で触れてはどうか。 この考えを広く伝える必要がある。	直接的に自助等の文言は使用していないが、重点戦略において期待する役割等で考え方を示している。	○
17	地球温暖化で高山もかなりの暑さとなっており、高齢者には酷な夏である。 暑いから、寒いからといった理由で期間的な施設入所の方も多くいる。 エアコンの助成金やスポットクーラー貸出等を計画に入れて欲しい。 熱中症による救急搬送率も下がると思われる。	具体的な取り組みへの提案であるため、今後の取り組みにおいて検討する。	－
18	健康の観点から訪問販売車を役所でも出して各地域に会計年度職員を配置して食材を配送してほしい。	移動スーパーの補助など引き続き買い物支援に取り組む。	○
19	福祉においても人材が不足している。 人材不足やコロナの影響もあり、デイサービスをやめたところもある。 人材育成も重要だが、人材確保を優先的にすすめる必要がある。 高齢化がすすむ高山において、現役で働いている高齢者が今後十分なサービスを受けられるのか不安である。	働き手や担い手などの人に関しては「重点戦略」に位置づけ、分野横断的かつ重点的に取り組むこととしている。	○
20	スーパーマーケットが訪問販売車を出さない場合、価格をもっと値下げするべき。 また、市役所にて買い物バスを運行し、郊外に出るようにすることで、市民が重い荷物を持ち帰る負担を軽減すべきである。	移動スーパーの補助など引き続き買い物支援に取り組む。	○
21	医療機関の充実として、眼科、整形外科など専門の医療機関を周辺地域に誘致してほしい。	地域医療の充実については、引き続き検討する。	－

No.	意見	対応	計画への反映
22	老朽化が著しい高山赤十字病院の新病院の建設と移転を望む。 災害時の拠点病院として可及的速やかに対処してほしい。	具体的な取り組みへの提案であるため、今後の取り組みにおいて検討する。	－
23	市内の医院やクリニックではスリッパの習慣が問題だ。 狭い靴棚や散乱する脱いだスリッパがあり、コロナ以降驚いている。 大病院では靴を履くルールがあるため、医療環境を整備すべきだ。 外国人観光客を受け入れるなら、患者にもスリッパをやめさせ、スタッフは靴を履くべきである。	総合計画に対するものではなく個別具体的な意見であるため、参考意見として承る。	－
24	不妊治療通院費の助成金の支給をしてほしい(隣接する飛騨市、下呂市には既に助成金があるので)。 不妊治療は精神的にも金銭的にも、負担が多い。 通院の為には仕事を休まざるえなく、収入に限りがある。 今ある助成金も大変ありがたいが、通院費の助成金も検討してもらいたい。	具体的な取り組みへの提案であるため、今後の取り組みにおいて検討する。	－
25	医療体制は充実していない。	参考意見として承る。	－
26	飛騨市民病院は上宝・奥飛騨温泉郷地域の重要な医療機関である。地域医療体制の充実の項目内に明記してほしい。	地域の重要な医療機関として、医療・保険分野で今後の取り組みにおいて検討する。	－
27	市内だけの閉ざされたネットワークができないか。 病院、診療所をつないで、市民の病歴や投薬情報を共有できるデータベースを作ってはどうかと思う。	具体的な取り組みへの提案であるため、今後の取り組みにおいて検討する。	－
28	診療所が上宝地域にはなく、栃尾診療所の医師も今年度で期限との声を耳にした。 人口減少や担い手不足で十分な体制が取れないことは理解するが、もう少し力を入れて欲しい。	国保診療所の運営や、医師確保の取り組みにより、地域医療体制の確保を施策としてすすめてくこととしている。	－
29	栃尾診療所は次年度も引き続き開設されるのか、教えて欲しい。	引き続き開設する。	－
30	飛騨市民病院で、今年度内に数回会議が開催されることが町内会連合会に声が掛かっている。 支所長はそのことを知っているか。	総合計画に対するものではなく個別具体的な意見であるため、参考意見として承る。	－
31	小さいこどもや、高校生くらいのこどもが遊べる空間をそれぞれ作ってほしい。	具体的な取り組みへの提案であるため、今後の取り組みにおいて検討する。	－
32	母子手帳配布時に、母親に赤ちゃんの発達についての教育をすすめたらどうか。 妊婦が全員集まる場で経費削減し、講師1人で数十人に伝えられる。 赤ちゃんに触れることが発達症の症状を緩和する効果があることを妊婦に伝えれば、市の療育費の圧迫が軽減できる。	具体的な取り組みへの提案であるため、今後の取り組みにおいて検討する。	－

No.	意見	対応	計画への反映
33	県では第2子以降の出産祝金が支給されているが、周産期死産した子も1人としてカウントしてほしい。 岐阜県が対応しない場合、市での支給を検討してほしい。死産は精神的に辛く、両親は我が子を抱けず成長を感じられない。 医学的にも出産として数えられるため、福祉面でも死産を人間として扱ってほしい。 母子手帳や死産届のコピーなどで証明が可能だ。 特に周産期死産は生きられる可能性があった子であり、社会的に認められないことが辛く、検討をお願いする。	具体的な取り組みへの提案であるため、今後の取り組みにおいて検討する。	－
34	若い人が移住できるよう子育て環境に力を入れる必要がある。	こども、若者に関しては重点的に取り組むこととしている。	○
35	子育て世代が周辺地域に移住しやすく、暮らしやすいように税金の緩和など優遇施策を考えてはどうか。	具体的な取り組みへの提案であるため、今後の取り組みにおいて検討する。	－
36	人口減少、少子化を抑制するため、行政が結婚を後押しするような支援をすすめてはどうか。	結婚に関する支援については、分野別計画の施策に位置づけているため、取り組みの中で検討する。	○
37	少子化により保育園、学校を安易に統合してほしくはない。 市内学校同士で運動会などを合同で実施するなど児童・生徒数が少ないところでも行事が実施できるように交流をすすめることが重要と考える。	学校等の規模、配置については関係団体等と意見交換をしながら引き続き検討していきたい。	○
38	荘川さくら学園がいよいよ開校する。特色ある学園として運用、先進的な教育環境が制度としても整えられることを希望する。	参考意見として承る。	－
39	地域にこどもが少ないから交流がなく、挨拶すらしないこどもばかりである。 これでは地域住民は地域のこどもを見守る意味がないと感じる。	今後の取り組みの中で検討していく。	－
40	学校教育については飛騨市の方が進んでいるように思える。	総合計画に対するものではなく個別具体的な意見であるため、参考意見として承る。	－
41	多額の金額を投資して荘川さくら学園を整備していただいた。 義務教育学校を起点として、地域活性化策を検討していきたいと考えているため、市と連携して地域一体で取り組んでいきたい。	荘川地域は、地域と学校が協働してこども達を育む学校づくりをすすめている。 「人」に関しては重点戦略に位置づけており、重点的に取り組むこととしている。	○
42	市内全ての校区の学校を選んで通学できるようにしてはどうかと考える。 不登校を減らし、人気校を作ることで学校経営が全体的に向上する。	学校区の適正規模・適正配置を含め今後検討していく。	○

No.	意見	対応	計画への反映
43	各地域の歴史文化は重要な観光資源となっている。 観光収入は観光業の方達の為だけに使われるものでは無い。 広く自由に各地域の為にも活用する施策に取り組んでほしい。	歴史文化資源の活用については引き続き取り組んでいく。	○
44	市町村合併して２０年経過するので、旧市町村の枠にこだわらない取り組みが大切だと思うが、各地域の歴史や文化は大切にしてほしい。	歴史文化の保存と活用については引き続き取り組んでいく。	○
45	若者も減り、祭屋台の運営が困難になってきている。 親戚、知人を呼んで対応しているところである。 世帯が減る町内にはお金もない。 文化のまちである高山にとって担い手不足は深刻な課題である。	働き手や担い手などの人に関しては「重点戦略」に位置づけ、分野横断的かつ重点的に取り組むこととしている。	○
46	祭りの担い手不足に対応するため、ふるさと納税の返礼品の体験メニューに屋台曳行体験を検討してはどうか。	具体的な取り組みへの提案であるため、今後の取り組みにおいて検討する。	－
47	名家で空き家になっているところには、文化財として価値のある貴重な品が眠っていると思う。 それらを寄附として受け入れて保存、活用できないか。	具体的な取り組みへの提案であるため、今後の取り組みにおいて検討する。	－
48	地域の伝統芸能を承継するため、伝統芸能保存劇団のような組織を市で創設することができないか。	具体的な取り組みへの提案であるため、今後の取り組みにおいて検討する。	－
49	過去には地域の社会人スポーツチームが指導に来ていたが、現在はハンドボール以外に教えるスポーツがないため、岐阜県のスポーツレベルが低下している。 地域のスポーツ支援を再強化する必要がある。	今後の取り組みの中で検討していく。	－
50	通院の手段として、のらマイカーがあるが、あまり利用されていない気がする。 近くの人達と利用出来る乗合タクシーの方が良いかと考える。	具体的な取り組みへの提案であるため、今後の取り組みにおいて検討する。	－
51	久々野駅周辺の整備が必要だと思う。	今後の取り組みの中で検討していく。	－
52	高規格道路沿線の立地を有するエリアの各地域内の公共交通機関の料金がバラバラである。 流入人口増加に向けて、同じ金額で移動できるように取り組んでほしい。	具体的な取り組みへの提案であるため、今後の取り組みにおいて検討する。	－
53	公共交通の実証実験は市街地からではなく、周辺地域から実施してほしい。 高山地域と支所地域内の公共交通料金の格差を是正してほしい。 現状では周辺地域の住民は自動車を手放して生活することができない。	公共交通について、施策分野に位置づけ取り組むこととしている。地域の実情やニーズに応じて利便性の向上を図っていきたい。	○

No.	意見	対応	計画への反映
54	市街地では観光特化型バス「匠バス」が運行されているが、奥飛騨温泉郷地域も観光地であるため、同様のバスを運行するべきではないか。	具体的な取り組みへの提案であるため、今後の取り組みにおいて検討する。	－
55	住民が亡くなったまま１年以上放置されている市営住宅がある。建築住宅課の職員や応援部隊が最低限の片付けを行うべきである。	総合計画に対するものではなく個別具体的な意見であるため、参考意見として承る。	－
56	町村地域の景観拠点の創出に取り組んでほしい。	景観の保全、地域資源の活用など地域の活性化については引き続き、検討して取り組んでいく。	○
57	放置される山、耕作地、廃屋は、防災面、景観面からも、また獣害からも良くない。 観光地としてはマイナスになる。	森林や耕作放棄地、空き家への対策などについては各分野別の計画で取り組むこととしている。	○
58	公園管理について、奉仕作業だけでは、草が伸び放題で、遊具もサビだらけである。	総合計画に対するものではなく個別具体的な意見であるため、参考意見として承る。	－
59	奥飛騨地域にある市営住宅の中を一度見て欲しい。 特に単身用世帯住宅はとても住めるような施設では無い。 移住したくても住めないような施設なら無くした方が良いのではないかと思う。	具体的な取り組みへの提案であるため、今後の取り組みにおいて検討する。	－
60	荘川桜や五連水車の維持について、メンテナンスは荘川住民で実施できるが、金銭面での支援をお願いする。 人の豊かさの根幹は美しいまちであると考える。移住者を迎えるうえでも支援をお願いしたい。	具体的な取り組みへの提案であるため、今後の取り組みにおいて検討する。	－
61	上宝・奥飛騨温泉郷地域は国道４７１号及び神通川水系にて飛騨市、富山県と深く繋がっている。 国道４１号と中部縦貫自動車道のアクセス道路として早期改良を図ってほしい。	県管理の道路のため、必要に応じて県へ要望等を行う。	－
62	市内の道路の状態が悪いように思う。 出勤で清見、荘川を通るが、道路全面が穴と亀裂だらけで、よけることが難しい。 雨降りで視界が悪い時に、穴をよけられず、車がへこんだことがあるため、道路整備を希望する。	総合計画に対するものではなく個別具体的な意見であるため、参考意見として承る。	－
63	市内を３０分で往来できる高速道路網を整備してはどうか。	総合計画に対するものではなく個別具体的な意見であるため、参考意見として承る。	－
64	都市の防災強化に取り組んでほしい。	引き続き取り組んでいく。	○
65	大規模発生時の市職員の対応体制は十分にできているのか。	職員参集システムの整備や職員初動マニュアルなどの策定により、災害時における職員の体制を整えている。	－

No.	意見	対応	計画への反映
66	災害時の市民の安否確認は、行政ではなく、まち協が実施する必要があると思う。 まち協で計画を立てて運営していく必要があると考えている。 自主防災意識を高める必要がある。市の役割とまち協の役割の明確化が必要である。	各まちづくり協議会に対して地区防災計画の策定を促進しており、地域における自主防災意識の向上に向け取り組んでいるところである。	○
67	避難指示があっても、避難所のトイレが和式であり介護を要する高齢者にとっては、排泄が困難なため、避難はせず、自宅で待機するのが現状である。 高齢者を考慮した過ごしやすい避難所整備をお願いしたい	具体的な取り組みへの提案であるため、今後の取り組みにおいて検討する。 避難所環境の充実に努めている。	－
68	大規模火災が発生した場合は消火栓だけでは対応できないと思う。 水利を確保するため、用水の整備が必要である。	災害発生時における消防水利の確保については引き続き取り組んでいく。	○
69	地元に住んでいない山林所有者が増えている。 山林を産業の有効利用とするため、山林の譲渡会など行い活用したい人に引き継がれるような仕組みを考えて欲しい。	具体的な取り組みへの提案であるため、今後の取り組みにおいて検討する。	○
70	森づくりは長期に渡る取り組みなので、計画期間より長いビジョンで取り組んでほしい。	個別計画にて検討していく。	－
71	乗鞍岳の登山道について、野麦側からも整備すれば高根側の交流人口が増えるかと思う。	具体的な取り組みへの提案であるため、今後の取り組みにおいて検討する。	－
72	森林環境税は市からも徴収しているのか。	参考意見として承る。	－
73	既存の国・県の施設を活用し、地域の価値を高めることが重要である。 国立乗鞍青少年交流の家や県立奥飛騨ビジターセンターは、アウトドアブームの中で活用されていないのがもったいない。 レジャーや観光の目的地になり、市民の雇用を生む受け皿にもなる。複数施設で共同して期間の長い大規模なイベントを開催してはどうか。 高山の山岳資源をアピールすれば、滞在時間の延長につながると考える。	具体的な取り組みへの提案であるため、今後の取り組みにおいて検討する。	－
74	山の保水力が低下しているが、下草の管理が不十分なところが原因である。	災害に強い森林づくりについては森林政策分野の施策として取り組むこととしている。	○
75	市内に流れる河川がほぼ源流（起点）である。 自然環境の保全という考えは今までもあったが景観に留まっていたと考える。 高山の水が汚れると域外も汚れるといった考えを現計画に示してほしい。	自然環境の保全には、生物多様性等も施策として取り組むこととしている。	○

No.	意見	対応	計画への反映
76	奥飛騨温泉郷地域では地熱発電等、自然環境温暖化事業が民間事業者により先導してすすめられているが、地域住民が理解しないまま事業がすすまないように行政も参画してほしい。	必要に応じて地域や関係事業者を集めた意見交換会を開催している。	－
77	上宝地域の米は、評価が高く、美味しい、他と違う味わいと聞く。 令和の米騒動と騒がれた今年、食料自給率は、相変わらず低い。 観光ばかりでなく、人間の命を支える農業に、もっと力を入れたら良いと思う。 様々な最先端技術を使う農業にしたら、若い人も興味を持ってくれそうだし、手作業なら高齢者も働けると思う。	農業振興については引き続き取り組んでいく。	○
78	農業の生き方、スタイルを広めるのはどうか。農家は冬季は自由に過ごせる。そういったところをＰＲすれば若者が移住するのではないかと思う。	今後の取り組みの中で検討する。	－
79	インバウンド戦略に加えて、地元の人たちの商業が盛んになるような戦略を検討してはどうか。	個別計画にて対応する。	－
80	市内で新規会社はホテルばかりで、コロナウイルスのような事態になれば、市内経済は麻痺してしまう。	総合計画に対するものではなく個別具体的な意見であるため、参考意見として承る。	－
81	技術の継承を人から人へにこだわると、人がいなくなり途絶えてしまう。 人からバーチャル、再び人へとつなぐ経路を確立すべきだ。 ここでのバーチャルは、技術者の作業を録画するだけでなく、ＶＲゴーグルを使用して、技術者の視線や手の使い方を疑似体験できる記録を指す。	具体的な取り組みへの提案であるため、今後の取り組みにおいて検討する。	－
82	高山は色々な種類の酒が製造されているまちであるという話が出ていた。 すべての酒が楽しめるまちなど新たな産業として力を付けていく必要があると考える。	今後の取り組みの中で検討する。	－
83	農産物で外貨を稼ぎ、稼いだ外貨で地域の産業を伸ばす。例えば、獣害防止のロボットを開発するような産業を市で創出してはどうか。	具体的な取り組みへの提案であるため、今後の取り組みにおいて検討する。	－
84	開発してもらいたい機械や設備がほしくてもそれを相談できる窓口がない。 市が各分野の産業を集めて相談内容を紹介して開発していく体制を整備してはどうか。 市民から特許につながるアイデアが生まれるかと思う。	具体的な取り組みへの提案であるため、今後の取り組みにおいて検討する。	－

No.	意見	対応	計画への反映
85	ハローワークの求人を見ると、ホテル関係、福祉関係、土木関係がほとんどで、それ以外の職種で働き口を見つけるのが難しい。	総合計画に対するものではなく個別具体的な意見であるため、参考意見として承る。	－
86	帰ってこない、移住しにくい根幹は給与が安いことである。 付加価値があり、高い給与が支払える産業の創出や育成をしていく必要がある。 まちづくりに必要なものは経済であると考える。	生産性の向上や高付加価値化など雇用者報酬の増加につながる施策を今後の取り組みの中で検討する。	○
87	周辺地域から市街地に移住するような補助制度があったが、市内で人口を取り合うような施策は見直す必要がある。	補助制度を見直し、現在は市外から移住される人を対象にしている。	－
88	登山者のための駐車場の整備として、現在新穂高センター向かいの駐車場を立体駐車場に改築し、３００台程度の規模を確保してほしい。	具体的な取り組みへの提案であるため、今後の取り組みにおいて検討する。	－
89	「分野別計画５_産業・労働・プロモーション」の「プロモーション」を“ブランディング”に変更し、計画体系図の円の土台部分に表記してほしい。 観光や特産だけでなく、地域の文化や行政サービスも含めて全体をプロモーションする必要がある。 高山市の第九次総合計画にはブランディングが不可欠で、これを通じて市民や移住希望者に伝えることが重要だ。	本分野には観光や特産だけでなく、風土や人情も含めた飛騨高山ブランドの効果的な発信も含まれている。	○
90	観光を主体とした産業複合体の構築をすすめてほしい。	今後の取り組みの中で検討していく。	－
91	犬と旅行する方が多いため、まちの博物館等に、ドッグランや子供達が遊べる広場があるとよいと思う。	具体的な取り組みへの提案であるため、今後の取り組みにおいて検討する。	－
92	着地型ツアーの紹介の仕方が不十分である。	効果的なPR方法については今後検討していく。	－
93	観光と農業がタイアップしていける施策として【国内有数の山岳資源や温泉資源を有するエリア】に国府地域を追記するべきではないか。 上宝・奥飛騨温泉郷、国府町、丹生川町は高山北商工会として４地域の発展に努力している。	自然や文化など地域の魅力的な資源を最大限の活用を考え各エリアの設定をしており、国府地域は主な地域には含まない。 商工分野等の他の取り組みまでエリアを限定するものではない。 今後の取り組みにおいて、地域間で連携できるものついては、今後検討していく。	－

No.	意見	対応	計画への反映
94	第九次総合計画の方向性についての説明会で【地域連携のまちづくり】において上宝町が置き去りにされているように感じた。	農業は農業分野でしっかりと取り組むこととしている。 丹生川地域も農業が盛んであり、連携した取り組みが期待できる。 また、国府地域や飛騨市との連携も考えられる。	○
95	印象として、奥飛騨温泉郷地域が中心で、上宝地域に合致する地域設定がない。農業者が多い地域だが、地域間連携のまちづくりに関係していることを感じられるようにしてほしい。		
96	地域間連携エリアのまちづくりについて、主な地域として関連周辺自治体も視野に入れて考えられているため評価できる。	参考意見として承る。	－
97	国府や丹生川との連携という部分もしっかりと計画に表してもらいたい。	市民にわかりやすい計画として表現する。	○
98	松本市は重要なパートナーであり、交流することで市が活性化すると考えているか。	ビッグブリッジの取り組みが正にそれを意図している。地域間連携で市内地域はもちろんだが、関連自治体として連携し、相乗効果を図る必要がある。	○
99	まち協に仕事を与えても成果が出ない。 まち協が町内会の集まりの組織体であるため、担い手が減少している現状では、活動が十分にできない。	地域の負担軽減や多様な主体との協働を促進し、地域コミュニティの維持・活性化に向けた取り組みをすすめていく。	○
100	何でもかんでも多文化を認める必要はない。 路上で騒ぐなどの文化はに日本にはないと思うので、線引きが必要である。	お互いの文化や考え方を尊重し、相互理解を深め、多文化共生社会の実現に向けて取り組んでいく。 あわせて、日常生活におけるマナーの周知啓発にも取り組んでいく。	○
101	計画に重要なことは具体的な目標を立てること。 そして、結果から修正していくことである。	計画の策定や見直しにつなげるため、施策評価を実施しているところであるため、引き続き実施していく。	○
102	現計画と大きく変えた点など今回の計画のポイントを教えてほしい。	これまではどのような「まち」をつくるのか、という意識が強いものだったが、「人」に着目し、「人」が「まち」をつくるとの視点に改めて計画を組み立てた。	－
103	人口減少の中で今後はＡＩ化等をすすめることが重要であると考える。	デジタル技術の活用や活用できる人材の育成、確保に取り組んでいく。	○
104	健全な市財政の確立を望む。	引き続き健全な財政運営を図っていく。	－
105	市民へ市財政の中期的・１０年先、推移の公表してほしい。	財政計画において引き続き示していく。	○
106	快適で安全な環境とあるが、地元スーパーが無くなるなど、住みにくい地域になっている。	地域の活性化については引き続き、検討して取り組んでいく。	○

No.	意見	対応	計画への反映
107	現実、子どもが生まれていない年がある。 複式学級になり、それも成り立たなくなる可能性がある。 国の対策も成果はなく、税金をかけて対策しても少子高齢化、過疎化は止められない。 将来の納税者は減る。税金を使う高齢者は増える。 有効な対策はあるのか?悲観しかない。	総合計画に対するものではなく個別具体的な意見であるため、参考意見として承る。	－
108	合併した周辺地域におけるアメニティの高い地域づくりを望む。	地域の活性化については引き続き、検討して取り組んでいく。	○
109	地域格差を解消出来るような施策に取り組んでほしい。	地域の活性化については引き続き、検討して取り組んでいく。	○
110	日本一広い市では、近隣市町村との連携は、非常に良い考えだと思う。	参考意見として承る。	－
111	火葬場を早目に建設して頂きたい。 何十年かかってますか。 そのほか、日赤のパーキングも危ないのでなんとかしてください。	総合計画に対するものではなく個別具体的な意見であるため、参考意見として承る。	－
112	荘川の住民は、今般の産廃問題に大変憂慮している。 この問題が解決しないと、本当の意味で将来を展望できない。	個別事案として引き続き対応する。	－
113	地域別の人口で、人口減少の割合が旧高山地域や丹生川地域、一之宮地域で少ない理由を教えて欲しい。	意見交換会時の資料に対する質問	－
114	上宝・奥飛騨温泉郷地域の各人口推移を教えてほしい。 各地域の推移が分からないと今後を検討することができない。 この地域の人口推移をどのように考えているのか、また、この地域の人口減少の要因をどのように分析しているのか。	意見交換会時の資料に対する質問	－
115	合併して良かったと思えるような施策をすすめてほしい。	第九次総合計画では暮らす人、訪れる人など市に関係するすべての人が「しあわせ」を実感できるように取り組んでいく。	○
116	市のことを「飛騨高山」や「高山市」とそれぞれ使っているが、統一した方が良いのではないかと思う。使い分けをすることで誤解を生じるのではないかと考える。	表現については検討する。	○
117	市長や副市長は、高山市の経済を改善する姿勢が見られず、仕事を黙々とやり過ごしている。 議員も、以前は地域の意見を聞く姿勢があったが、今では選挙の際のみ姿を見せる存在となり、税金を無駄に使っていると感じる。	総合計画に対するものではなく個別具体的な意見であるため、参考意見として承る。	－

高　山　市

令和６年度
第九次総合計画策定に係る意見交換会